

660.59Su769Z5

YEAR BOOK OF FISHERIES

1956

水産年鑑

昭和31年版



水産研究会編
 水産週報社版

385050

お買物は



交通 便利 な

東横

渋谷・池袋

きせつの
 お買物は



東京・新宿 伊勢丹

贈って必ず
 喜ばれる



松坂屋の商品券



上野
 銀座

松坂屋

最も買い良い店



白木屋

日本橋・五反田・大森・高円寺・丸ビル



商贈答に
 商品券

銀座・浅草

松屋

商品券

楽しいお買物



東京日本橋・大阪なんば・京都四条三越呉通



高島屋

受けて重宝

三越の商品券



三越



9都に共通

大丸の商品券 1階

300円より10,000円まで

東京・大阪・京都・神戸の各店及び博多
 福岡・高松・鳥取・別子の各店に共通



大丸

電話代碼 1531

二〇 IMF (國際通貨基金) 調查團來日

— 19 —

イゼンハワー米大蔵領、議会の船および並列の関税引上げ勧告を拒否す日銀、金園主必五四六企業の二八年度下期の経営分析を発表、投資財部門の不調に対し消費財部門は好調続き企業の優勢顕微化

二四 政府、MSA小安資金(一九九年度分三六億円)部分計画決定

二五 米、パドル法修正を発表、対此露國禁輸八〇品目を緩和

二六 政府、日本タイ貿易計画(輸出入各六、五〇〇万ドル)の一年延長を決定

二七 フランス國民議會、EDC条約批准討議打切りを可決

九・一 大蔵省、八月中の財政収支表を公表、当初の繰越見込四七〇億円を大幅に下回る九二億円の繰越にとどまる▽農林省政務次官に羽田武副氏決定

二 英労働党現職團長日(五日帰國)

四 米下院穀物相場一ガンド当り一、〇一三四四〇銭から一、〇一四六〇〇銭に改定▽アイゼンハワー米大蔵領、一九五五會計年度對外援助支出権限法案に署名▽第一六回中華經濟會議を開く

六 自由黨、新經濟政策発表

七 第四次棉花指數調印(六、〇〇〇万ドル)▽日英支那協定申合せ議定ロンドンで開会▽米、

二五 北洋捕鯨船九船開航、楚港▽神奈川縣漁業指導船相模丸出港▽大日本海運船を関係方面に陳情

二七 北洋捕鯨船七、五〇〇屯西領へ輸出

二八 バタヴィア漁船東宝物産と契約なる▽北洋タラ底曳網丸船団芝浦に帰港

二九 第八次大津母船式マダラ洋丸船団出港▽北洋サケ・マス永仁丸船団帰港

三〇 第二回漁業センサス結果概要発表

三一 漁業特殊再保險金支払特別措置閣議決定▽第六回全國漁港大会開催(札幌)

九・二 セイロン國漁業使節団コロン漁業相等來朝

三 安藤國務相、ビギニ補償に米國一〇〇万ドル支出を諒解と表明(閣議決定)▽船舶諸原資交付法にパンキヤブ社エリントン氏來日

四 第一六回中央漁業會議開催▽安藤國務相參閣本座委てビギニ被災對外米通報額二五億円を説明

六 日本官報北洋トロールへ出港▽冷凍食肉理事會、對米輸出を検討し母船式マダラの調整外を決定

七 中野輝一船一七〇隻を許可▽自由党水産部長大綱を公表▽政府は水産委員一人五〇万円の立替金を決定、流通関係に二次融資決定

九 北洋水産永仁丸北洋トロールへ出港▽中野輝一船一七〇隻を許可及び認可方針を通達

一〇 大津、北洋漁業小委員会設置

一一 ビギニ第二次融資一三、四〇〇万円と決定▽大津、三社(ロッテル

英、フランス、フィリピン、タイ、パキスタン、オーストラリア、ニュージーランドの八カ國、東南アジア集同防衛協約に調印

九 ダレス米國務長官來日

一〇 ダレス米國務長官來日、ダレス長官帰國日銀、大蔵省発表による八月の外匯為替取支超過三八〇〇万ドルと七月よりさらに好転

一六 閣僚會議、下期外貨予算を一〇億九、〇〇〇万ドルに決定▽近江稲米スト解決▽本年度米価に關する農林、大蔵兩事務次官折衝により(一)基本米価を石当り八、九二〇円(三等、裸)、(二)よりあす超早場米補助金を石当り二、〇〇〇円、(三)昨年度米の追加払い二〇五円とするの三点を決定▽海上保安庁で外國領域への緊急入城手續規定の改訂を発表

一八 生産者米価政府原案決定(平均手取り石当り九、五五七円)

二二 日銀政策委員會、日銀高率適用の調整率一〇月一日から七〇%に改訂する旨決定▽第九回國連總會ニューヨークで開会

二四 米下院穀物相場一ガンド当り一、〇一三四四〇銭から一、〇一四六〇〇銭に改定▽國際通貨基金および世界銀行第九回總會ワシントンで開會

二五 対ビルマ賠償交渉結、賠償二億ドル、經濟提携(合弁事業)五〇百万ドル、いずれも一

一三 台風一二号襲来

一四 政府第五福竜丸船員に、一五〇万円の立替補償を決定▽日中、日國安刺整會議準備會等、六団体漁業協定に關する合同聲明書発表

一五 三黨商事本社とサモア島で漁業提携に調印

一六 大津、石油開採問題で陳情▽海上保安庁で國領域への緊急入城手續規定の改訂を発表▽農林省災害対策本部が一、二号台の被害発表、四五一隻のうち沈没九隻

一七 太平洋岸の冷流マダラ連員五那領上げを公表▽三〇年度水産関係予算要求額決定▽議員連盟、漁米中の首相にビギニ補償につき要請電▽北太平洋漁業委員會政府代表に日魯社長小林小一郎氏発令

一九 アラバ海真珠船隊、豪首相の訪問を受ける

二一 大津で漁業法改正懇談會▽サンマ諸協理理事會販賣状況を協議

二二 札幌で北方漁業促進道長大會

二三 ビギニ水産被災者久保山氏死去▽北緯はいかる丸船団歸港切場

二六 中共視察團員出發▽台風一五号襲来▽第二次北洋トロール漁間丸帰港▽大洋第三太平洋南方船船団出帆▽日中漁業顧問平野義太郎氏帰國

二七 水産庁は漁船保險引受取方針通達

二八 台風五、一五号等による冷害対策要綱を決定▽水産庁第四次北洋捕鯨許可方針を表明

三〇 大洋二太平洋丸にアルゼンチン漁業を許可

○年払い、ただし結清提款のうち二〇百万ドル程度を長期借款とする協定に板橋印
二六 吉田首相外遊の途に就く
二八 九カ国(米、英、フランス、西独、イタリ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグおよびカナダ)外相会議ロンドンで開会
二九 政府、下期外貨予算決定(総額一億五、三六八万八、二〇〇ドル)▽国際通貨基金、世界銀行第九回総会閉会、西欧通貨自由交換早期実現の期待薄らぐ
三〇 大蔵省、ポンド裁定相場を一ポンド一、〇〇九四八〇銭より一、〇〇八八円に改訂▽小坂芳樹、閣議で七月米の完全失業者は六四〇千人に達し動向最悪であると報告
三〇 第四回全国青年指導者会議開催
三二 日本国貿易促進協議会発足
三三 大蔵省、二九年上半年期財政資金対民間収支差額発表(一七八億円の支払超過二八年前期比八〇一億円増)▽日英貿易中間会議終了、協定の二ヵ月延長を発表
三 九カ国会議終了、西独の主権回復および再軍備に関する九カ国協定調印
四 日本輸出入銀行、金利四分五厘から四分に引下げ▽ロンドン計画諮問会議開催(八日閉会)イタリヤ・ユーゴ間トリエステ協定調印▽コロポ計画諮問会議、日本の同意調加入を承諾

一〇・一 通産省軍油消費規制措置を実施
二 農林省、上期の沿岸漁獲高を発表(四六八百万貫で前年同期比五%減)▽北洋組合連合委員会
三 日本のコロポ計画に正式加入を承認する
四 原爆被害調査連絡協議会内閣に設置
五 北洋捕鯨はいかる丸船団(港内)地サケ・マス漁船組合以西底曳網の北洋出漁に反対を陳情▽東北陸一県水産部長会議代表、北洋サケ・マス許可問題で水産庁に申入
六 陸津久保山氏の漁民報を奉行
七 以西底曳網、北洋サケ・マス出漁会社の設立を決定▽岡井水産庁

次長臨▽英連邦ガット連綿会議開催(二日閉会)大蔵省、特需債償還額を決定
二六 日本イタリヤ貿易会議開始
二七 フランス国民議会議、九カ国協定に就く外交政策継続に関する政府修正案可決▽中、ソ共同宣言発表▽日銀、對農林中金策オペレーション実施(総額二〇億圓)▽岡野小委協定第一六回理事会ロンドンで開催(二四日終了)愛知通産相視察▽英内閣改組
一七 防衛庁、三〇年度防衛力増強計画を発表
二一 日本四強新貿易協定調印(年間輸出入各五、二〇〇万ドル)
二二 パリの四カ国会議、九カ国議及びNATO理事會、西独の主権回復ならびに再軍備に関する諸協定に調印
二六 東京証券取引所に突入
二七 日銀貯蓄推進部、上半期中(四ヶ九月)の金融機関一般預金増加状況を発表、増加額一、八三七億圓、年度間目標達成率四〇・五%▽農林省八月分の農水産物輸出実績を発表、水産物輸出額は二五億八、二八一萬四千圓
二八 第九回ガット総会ジュネーヴで開会
二九 日本ペキスタン貿易協定調印(輸出入各二、八〇〇万ポンド)▽通産省、三割パーセント貿易の運用方針改正▽ガット総会、明年二月以降日本の関税交渉開始を承認

参院水産委で北洋サケ・マスに今後東軍主議でのそむ旨表明
一 三菱重工業、漁船出漁船の途につく
二 東京有楽町遊覧ホールで故久保山豊吉氏追悼全国漁民大会開かる
三 原本捕鯨止損害補償など三項目を決議▽以西底曳網、福岡市で臨時総会を開催、北洋サケ・マス出漁計画並びに日本北洋漁業会社の設立を決定▽輸出水産業振興審議会令公布
四 日水で第九次南極船団編成を発表
五 勸業議員一行中の右社代表松浦周二氏より漁業問題解決のため本年中に業界代表を北京に招請するとの中国側意向を伝う
六 日水、日水、大津並びに北海道水産廳漁工業協会で三三組織共販会社の設立を決定
七 内地北洋組合で以西の北洋出漁反対など五項目を水産庁に陳情▽小林、藤田氏ら日米加三國漁業國際會議日本代表團一行、バンクーバーに向け客路羽田を出発▽産別別輸出會議決定
八 太平洋沿岸漁船社長夏堀三郎氏、中南米諸國との漁業提携交渉を終る
九 北洋捕鯨事業本部で第三次北緯の調査報告会を開催▽通産省第四次リソック輸出方針決定
一〇 日中漁業で日中漁業會議に対する業界の思想統一など国内態勢の整備問題を討議▽カンオ・マダロの漁区協定▽肝油共同販賣株式会社設立▽サンマ漁業者リソック輸出を要望
一一 全日海商捕鯨船部長ら漁業専門委員會に出席の為ジュネーヴに向け出発▽以西底曳網、以西底曳網の北洋出漁に反対を声明
一二 訪ソ水産代表榎水一臣氏帰國▽以西底曳網の北洋出漁に反対を声明
一三 案申請書を水産庁に提出すると共に陳情の火蓋切るとの二二輸出水産業組合設立準備会

- 一八 総開運、経済の発展に大儀を以て、
- 一九 臨時閣議で補正予算を説明、ビルク・賠償使節、
- 二〇 華里士大郎氏に決る、通産省綿織品輸出に緊急措置、
- 二一 新政策大綱、同政策それぞれ成る、
- 二二 日米石綿、バイン、シンガー外資提携米制取、
- 二三 新党名日本民主党に決定、堀山氏等三七名、
- 二四 由免脱出、公正取引委員会、農林中金の乳牛、
- 二五 補正予算閣議決定、三八億四、〇〇〇万円、
- 二六 改進黨、臨時党大会で解散宣言、
- 二七 日本民主新党、小坂首相、公労協ストに、
- 二八 民主的、トール連閣と警告、通産省インドネシ、
- 二九 ア向け輸出権適用を拡大、ビルク賠償調査団、
- 三〇 留られ決る、
- 三一 造船、保全、経済会事件、二六公判開く、
- 三二 農林省、三〇米穀年度米の需給計画検討開始、
- 三三 (一) 律に、二五(日配給)自由党後任候補に、
- 三四 方副総理、政府与党会談で一致、移民借款受、
- 三五 入れ内定、(総額一、五〇〇万ドル、期間一〇年)、
- 三六 ヲ大蔵省、ボンドの裁定相場改訂を発表、二、
- 三七 六日から二分の一セント引下げ、
- 三八 経済審議、二八年度国民所得発表、(総額五、
- 三九 兆九、六四九億四、二七年度比一四・八%増)、
- 四〇 日銀発表、主要企業の製造原価一〇・二〇%

- 一六 海上保安庁海上治安の現制を發表、日中漁業協定後決定、
- 一七 大津市市場仲買人に對するビルク・賠償決定、
- 一八 大洋漁業、二天洋丸マダロ船、帰國の途につく、
- 一九 下関水産講習所所屬試験船「俊龍丸」インド洋マダロ調査に出港、
- 二〇 豊水産物輸出会、
- 二一 第一回輸出水産振興新議會、農林省分室にて開催され、
- 二二 び製造基準を決定、水産庁では、十月分の大根木船及び、
- 二三 を発表、それによると、木造船五、六三九、
- 二四 となつてゐる、水産庁において水産貿易整備委員会を十八日付を以て、
- 二五 決定、
- 二六 衆議院第三議員会館で水産議員連盟主催の水産貿易対策委員会、
- 二七 開催、大津錦城丸船団南洋(出港)、
- 二八 電田丸(南方漁業開拓会社)バルンヤ灣へ出港、
- 二九 道議会で、以て出漁反対陳情の趣旨を決議し、
- 三〇 岸長官に申入書及び意見書を提出、大津は九州地区東北、
- 三一 区に分かれて、漁業法改正の現地調査を実施し、
- 三二 付を行ない、漁政正調査の結果をまとめた、
- 三三 に出席した、日魯小林社長等、
- 三四 東支那海で漁業中の日本漁船が、
- 三五 漁船沈没、即死二名、重傷三名を出す、
- 三六 東京水産会館で開催、
- 三七 日・米・加、三國生物業者によるオットセイ会議終了、
- 三八 報告書を作成し三國政府へ送付、
- 三九 二〇名、一人名と決定、各団体より入選者を選出する、
- 四〇 第三回漁船建造会議を開催、二五件のうち、

- 一八 下の(二八九年九月より二九九年六月まで一〇、
- 一九 カ月の調査)マ労働省、標準賃金の実施発表、
- 二〇 只見田子倉、補償決定、(六億三、五〇〇、
- 二一 万円)マ大蔵省財務局長会談、
- 二二 第二〇臨時国会開会、首相、議席施政演説、
- 二三 政府、二九年度國庫収支の改訂見通し発表、
- 二四 (収入二億六、三三〇万ドル、支出二億、
- 二五 八、四〇〇万ドル、差引収支超過(黒字)一、
- 二六 億七、八九〇万ドル)マフランス銀行、公定、
- 二七 割引率二分二厘五毛から三分に引下げ、
- 二八 聖誕節予算委員会、吉田首相の演説に質問、
- 二九 中、経済審議、国土総合開発計画草案(日、
- 三〇 昭和四〇年度)参議院経済安全会で説明、
- 三一 ヲモスワ金議院、八カ国共同宣言発表、
- 三二 農林省、二九年度米の集荷日、二五、〇万、
- 三三 石と説明、東京手形交換所不況手形枚数、
- 三四 三、〇三八枚、本年五月六日以来の最高、
- 三五 二九年度補正予算案閣議通過、
- 三六 子力平和利用計画実施決議案を全会一致で可、
- 三七 決、
- 三八 吉田内閣不信任案衆議院に提出、
- 三九 賠償調査団、ラングン向け出港、
- 四〇 吉田内閣総辭職、
- 四一 自由党議員総会、緒方竹虎氏総裁に就任、

- 一八 海軍、通産省及び水産庁は商工会館において、
- 一九 ハのチエックアップ、
- 二〇 日中漁業協定、漁業調整のため、
- 二一 日中漁業協定、中国に正式会談を申し、
- 二二 法律、施行令、施行規則公布、
- 二三 輸出振興法による附令施行、
- 二四 北海軍政、
- 二五 貨二〇万KLを申請、
- 二六 日中漁業交渉、代表表団決定、
- 二七 大洋第一、一、五五海丸ナリ、
- 二八 漁業災害に關する特別立法成立、
- 二九 委で決議、補正予算、
- 三〇 出米の免服法など成立、
- 三一 四七度以南サケ、
- 三二 子給予輸入外資金割当を發表、
- 三三 賠償を採択、
- 三四 全漁連スルメ輸出促進を、
- 三五 北海組合(水産出社)、
- 三六 日中協が交渉代表名を中共に打電、
- 三七 新農林大臣に河野一郎氏決定、
- 三八 罰金判決、二九年度漁業振換の結果発表、
- 三九 水産庁利根九四部、
- 四〇 米國関税引下、
- 四一 北洋捕鯨母船丸の改造許可、

- 銀、全国銀行二九年九月期決算状況発表（戦後初めて取組証を示す）▽米農務省、一九五四年～五五年度米需最取組予想発表（一、二五六万九千俵）
- 九 国会、新内閣首班に鳩山一郎民主黨總裁を指名▽民主、右派、左派、三黨幹事長、書記長会議三〇年三月總選舉施行を意見一致▽日中協が交渉代表名を中共に打電
- 一〇 鳩山内閣成立、該相に二万田、通商相に石橋、農相に青柳、逓送長官に高橋の各氏就任臨時閣議で綱紀肅正に関する中合せとともに施政方針に関する政府声明を発表▽新日銀總裁に榎本榮吉氏決定▽國通路會、國際金融會社（IEC）設立を決議
- 一二 MSA小麥贈与田資金配分の米國案内示▽建設省、緊急災害対策事業実施費決定の▽民主、幣政策大綱決る▽通運一〇万キロワットの原子力発電所建設計画を発表
- 一三 通運省、全則農産物見送り田資金の配分を、富源開墾一六二億円、農業開墾三〇億円などとする案を決定
- 一四 左右両派社会黨の統一、三〇年七月実現目標と合併金請で方針決定▽カンボジア政府、対日賠償請求権放棄する旨を通告▽通運省、十一月輸出國証額発表一億五、三六六万ドルで戦後第二位の高記録

- 東洋海洋調査船着澳先連水
- 一六 英國旗北洋漁業の出漁に水産庁長官反対を表明▽水産庁長官に前谷重夫氏発令▽野城市第六勝丸船三捕魚九ベトナムへ向け出港▽農林水産省、漁業用石油類の外貨を急遽運に開当てるべきであると決議
- 二〇 小形捕魚取締規則一部改正
- 二一 東都水産KKと東京海産物合併
- 二二 農政府、第三集九乗組員二三名を釈放
- 二三 ビヤニ患者跳遷に帰郷
- 二四 第二次ビヤニ捕魚協議決定▽漁船損害補償法施行令一部改正、閣議決定▽外務省日本漁船の捕魚問題に關し、韓國に嚴重抗議
- 二七 厚農式漁業取締規則の一部改正▽農林中央金庫パタコムア開発漁業協同組合組織費を決定▽韓國日本漁夫二〇名に禁固刑の判決をなす
- 二八 マダロ放射能検査中止を閣議決定
- 三〇 水産庁、三十年度の北洋母船式漁業の実施方針を決定、さげ・ますは二船回、かに船回の操業許可

- 一六 ソ連政府、日本ソ連間の關係正常化に關する日本との交渉を歓迎と發表▽下田外務省條約局長、米露閣外務委員會で「鳩山首相が中米と國府双方を獨立國と認め、友好關係を結ぶたいと発言したことは日華平和条約に矛盾しない」と答弁
- 一七 コアララケ・エイロソ首相来日▽第九回國連總會議決
- 一八 在日米大使館、日本政府から日米協力保障を確諾と發表
- 一九 石橋通商相、二九年下半年外貨予算増額を言明
- 二〇 政府、憲法再檢討に着手▽農林省、愛知用水公社成立の▽ウィルソン米國防長官、在日軍一個師團減を言明
- 二一 自衛隊は「憲法に基く自衛權の許されている範圍内では軍隊である」と鳩山首相見解表明
- 二二 新日本銀總裁、外為會計の日銀移管後に金為骨本位制採用考慮中と言明
- 二三 造船業界、一一次計造船額二二万トン、輸出船価の一割増徴を二本連通相に要請
- 二四 大蔵省、三〇年度地方税制大綱決る▽民主黨緊急政策大綱決る▽經濟審議庁、二九一年一組の緊縮政策に対する見解を發表▽東京証券取引所出来高、一、三二七万四千株（二九年最高）
- 二五 農林省、二九年産米推定実収高発表、六、〇

- 七五万五、六七一石（二八年比五八三万一、八七一石増）▽通商省、三〇年度財政投融資計画を通じ、強大均衡へ、資金の調達に新金融債の発行も計画▽原子力海外調査団出発
- 二六 日本製鋼所工場争議終結（一九三〇日）
- 二七 重光、アリソン会談▽経済部、経済六ヵ年計画成る▽厚生省、厚生白書発表
- 二八 東亞証券取引所大納会出来高概算七十九万株、平均株価三五八四九銭
- 二九 農林省、デフレ経済の農業への影響を発表
- 三〇 日銀券発行高、七、一〇二億円（二九年最高）▽フランス国民議会、西独再軍備を認める、パリ協定についてマシダス内閣信任
- 三一 日銀通年通貨は六、二二〇億円と二三年より前年を下回り、本年の発券高は年間七八億円収縮した。
- 三〇・一・三 イラク、ソ連と外交関係断絶▽パナマに戒厳令
- 四 生ゴム相場、暴騰▽ガソリン、春期で開かる
- 五 MSA小麦見送り円資金三六億円のうち二四億円の使用を許可▽対カナダ・ドルレート切下▽紐育株大暴落
- 九 米原子力委、原子力発電促進の新措置を発表

- 三〇・四 ビキニ被災補償額二〇万ドルに決定
- 五 水産庁監視船第一〇伸洋丸行方不明となる
- 六 ビキニ被災補償金配分に六六市場関係で要請書呈出▽北洋鮭・鰺漁船別配分決定、経営、農水産物等生産計画を成案、農水協会、水産庁に減額促進を申入れ
- 七 南太平洋諸島諸島に北洋海船式種・鰺漁船各船配分正式決定
- 八 日中漁業異議交渉団野田出発▽北洋出漁分限許可の請願書を提出
- 一〇 日本冷凍食品水産組合創立総会開催

- 一〇 東京証券取引所のダウ平均株価昨年の大天井を抜く
- 一一 大蔵省で本年度国庫資金供給見通し確る（総額九、六五〇億円）▽大蔵省、二九年中の通関実績発表（輸出総額一六億三、〇〇〇万ドル）▽ユニオン軍、コスタリカへ侵入、両国の国交断絶
- 一二 OEEC理事会で開く
- 一三 日銀から二九年の国庫収支実績発表（黒字一億ドル）▽国防、米華防衛条約を批准
- 一四 パナマでデザート大統領に連任命令、後任はスビンザ氏
- 一五 通商省から昨年の輸出総額一六億一、〇〇〇万ドルと発表▽防空自衛隊ジェット機訓練始る
- 二一 グアテマラに戒厳令
- 二二 印度国民会議派大会で東南亜条約反対を決議
- 二四 衆議院解散
- 二五 会計検査院で二八年度決算報告書（不當支出一四八億円）▽通商省、農林部会布告を発し対独競争状態終結を宣言（四独にも適用）
- 二六 二月起債、三六億圓五五億圓に決る▽米上院台湾防衛に米軍使用の権限を大統領に付与する決議案を可決
- 三一 國連安保理事会開く、台湾問題を討議▽日中

- 一一 日中漁業交渉団声明を発表
- 一二 ビキニ被災補償額に關する打合せ会開催▽漁業調整事務局局長會議開催▽ビキニ補償運営委員会第一回開催▽南農商相漁船保護に日露協定締結の必要を言明
- 一四 經・鮭協會ビキニ被災損害完全補償要求を協議
- 一七 北洋鮭・鰺各社開議漁業を由開金制水産物小売商連合会ビキニ補償に二億六、五〇〇万円を要求▽農林漁業金融公庫四、四半期資金貸付計画決定
- 一八 道南イカ漁業振興会発足▽日本肝油販売株式会社設立
- 一九 大津、新インド漁業KR設立を内定▽水産庁第一〇伸洋丸消息不明事件に關し遺憾の意を表明
- 二一 金製製魚油への転換を閣議決定▽日本カニ鮭輸出水産業組合創立総会開催
- 二二 日中漁業代表團、日本漁船の自衛隊の警戒を要請す▽参水委政府にビキニ水産補償について要請書を提出▽参水委金通連への鮭油外貨割当支持を決定
- 二四 經・鮭連合会政府へビキニ被災完全補償について公開質問状を手交▽四七度以南鮭・鰺漁船全漁業者大会開催
- 二五 日中ノ国交回復全開會議開催▽北洋鮭・鰺共済大洋・公海漁業同者の分譲を決定▽鰺鮭協同臨時總會で三〇年度生産目標、販賣調整等を協議▽漁船保險中央會第三回通常總會▽鰺鮭共販株式會で坂本社長兼任
- 二六 五社、以西底曳網船反対緊急書を提出▽水産委員会廢止さる
- 二七 水産庁四七度以南鮭・鰺漁船漁区拡張を認めないと言明▽日本鰺鮭協會理事會、諸問題調査委員會、労務改正案を協議
- 二八 漁業用燃料の価格引下げ方針を閣議決定▽北洋鮭・鰺漁協組織立發

p17~43 ページ
複写物です。著作権者等の許諾がなけ

掲載・配信等ができない場合があります。国立国会図書